

リデュース

食品ロス削減月間



おいしく 楽しく 食べきろう!!

今、日本では国民1人1日あたりお茶碗約1杯分の食品が、本来食べることができたにもかかわらず、食品ロスとして廃棄されています。

10月は、食品ロス削減月間です。食べ物を無駄にするのはもったいない！食品ロスを減らすために、一人一人ができることから始めましょう。



少し工夫をするだけでも食品ロスは削減できます

例えば…

- 買い物前に冷蔵庫をチェック！安くても買すぎない
- 調理するときは、食べられる分だけ作る
- 残った料理は捨てずにリメイク！意外なおいしさが発見できるかも



■食品ロス削減推進協力店・事業所■

小盛りメニューや、食べ残しを減らすための呼び掛けなど、事業者が創意・工夫をして食品ロスの削減に積極的に取り組んでいる飲食店や事業所等を認定しています。お店選びの参考にしてください。

認定店・認定事業所募集中！

事業者の方のご参加をお待ちしております！ごみ対策課までお問い合わせください。



小全井カメすけ

【くるカメ】食品ロス削減プロジェクト

市内の飲食店等から発生する食品ロスを減らすため、売れ残りが予想される食品や規格外品、消費（賞味）期限が近い食品など、「まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品」を飲食店等がウェブサイト「タベスケ」に安価で出品し、その食品を気に入った利用者が購入予約を行い、直接店舗等で購入する食品ロス削減プロジェクトです。

■ユーザー

ウェブサイト「タベスケ」より希望の商品を選び、購入予約を行い、予約時間にお店に行くだけで通常よりも安価に購入することができ、食品ロス削減につながります。



ユーザー登録はこちら

■協力店

市より食品ロス削減推進協力店の認定を受けた店舗のみ登録することができます。

上記「まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品」をウェブサイト「タベスケ」に出品し、購入予約をしたユーザーに店舗で直接販売します。



協力店登録はこちら

ごみ処理基本計画の子ども版をご活用ください！

くるカメ大作戦！のメンバーが大活躍するキッズ計画ができました。お子さんと一緒に「ごみ」について学んでみましょう。市ホームページ「ごみ・リサイクル」から「くるカメ大作戦！」をお選びいただくか、右記の二次元コードからご覧ください。



子ども版の「ごみ処理基本計画」はこちらだギー！



「みんなで守ろう！海と地球」もあるギー！

環境に配慮したバイオマスプラスチック使用のごみ指定収集袋を導入します！

市では、10月からバイオマスプラスチック(植物等の再生可能な有機資源を使用するプラスチック)を使用した家庭用ごみ指定収集袋を導入します。

バイオマスプラスチックの使用

市では、バイオマスプラスチックの最大限導入をめざす国のプラスチック資源循環戦略に沿って、石油資源の保護、地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの一つであるCO2排出量の削減に貢献するため、カーボンニュートラルを活用し、サトウキビの絞りかすやトウモロコシなど植物由来の原材料(バイオマス素材)を家庭用ごみ指定収集袋の材質に導入することとしました。今後家庭用ごみ指定収集袋は、植物由来原料を25%配合した材質へ変更となります。これにより、廃棄焼却時に、年間86,000キロのCO2を削減することができます。**変更後は、新旧の指定収集袋が混在しますが、旧指定収集袋も引き続き使用できます。**

切替え時期

10月頃から指定収集袋取扱店(ごみ・リサイクルカレンダー23頁参照)で販売します。なお、**家庭用ごみ指定収集袋の外観(色や形)・種類・金額(消費税込)は、従来と同様で変更ありません。**



市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



私たちにできること

市では、令和4年4月に気候非常事態宣言を表明し、その一つの柱としてゼロカーボンシティをめざすことを掲げています。カーボンニュートラルでCO2削減効果があるからごみ袋をたくさん使っていきたいというのではなく、あくまでもごみ袋の使用量を総体的に減らすこと、ごみの発生抑制を第一にごみ減量に引き続き努めていただくことがより重要です。